



年 組 名 前

道新ワークシート

男山 瓶リサイクル好調



男山に持ち込まれた空き瓶(諸橋弘平撮影)

【旭川】道内酒造大手の男山(旭川)が、日本酒の空き瓶リサイクルを推進するため、7月に始めた回収事業が好調だ。持ち込まれた瓶の本数に応じて日本酒と交換する仕組みで、開始2カ月で想定の2.5倍の約500本を回収。北海道酒造組合(札幌)によると、道内の酒造会社では珍しい取り組みで、同社は今秋発売する新商品に回収した瓶を使うことにしている。男山は商品の多くに業者から購入したリユース瓶を利用しているが、市民にもリサイクルに直接参加してもらおうと、7月6日に「みんなのマイボトルメンバー制度」を始めた。瓶の下部に「丸正マーク」がある一升瓶など、回収対象の瓶を同社併設の直売店に持ち込めば、1本につき1

2ポイントが付与し、36ポイントで回収した瓶を使った日本酒(720ミリリットル)と交換する。

開始2カ月 想定の2.5倍 ポイント制で酒と交換

対象であれば、男山以外の空き瓶でも回収する。瓶は損傷がないことを確認した後、大型洗浄機で2度洗って再利用する。空き瓶は制度開始から8月末までに502本が持ち込まれた。

同社は瓶のデザイン性を重視し、新商品には新しい瓶を採用してきたが、同制度で環境意識がさらに高まったとい、今秋の新商品での利用を決めた。山崎五良取締役は「瓶再利用できる。消費者がリサイクルを具体的にイメージできるのでは」と話している。回収対象の詳細や問い合わせは同社 ☎01666・48・1931へ。

(山口真理絵)

2021年9月8日朝刊 全道版 経済面 11ページ (記事は再編集しています)

①男山では、回収(かいしゅう)した日本酒の空き瓶(びん)を何に使用しますか。

②市民(しみん)にもリサイクルに直接(ちよくせつ)参加(さんか)してもらうことで、どんなよいことがあると考えますか。